





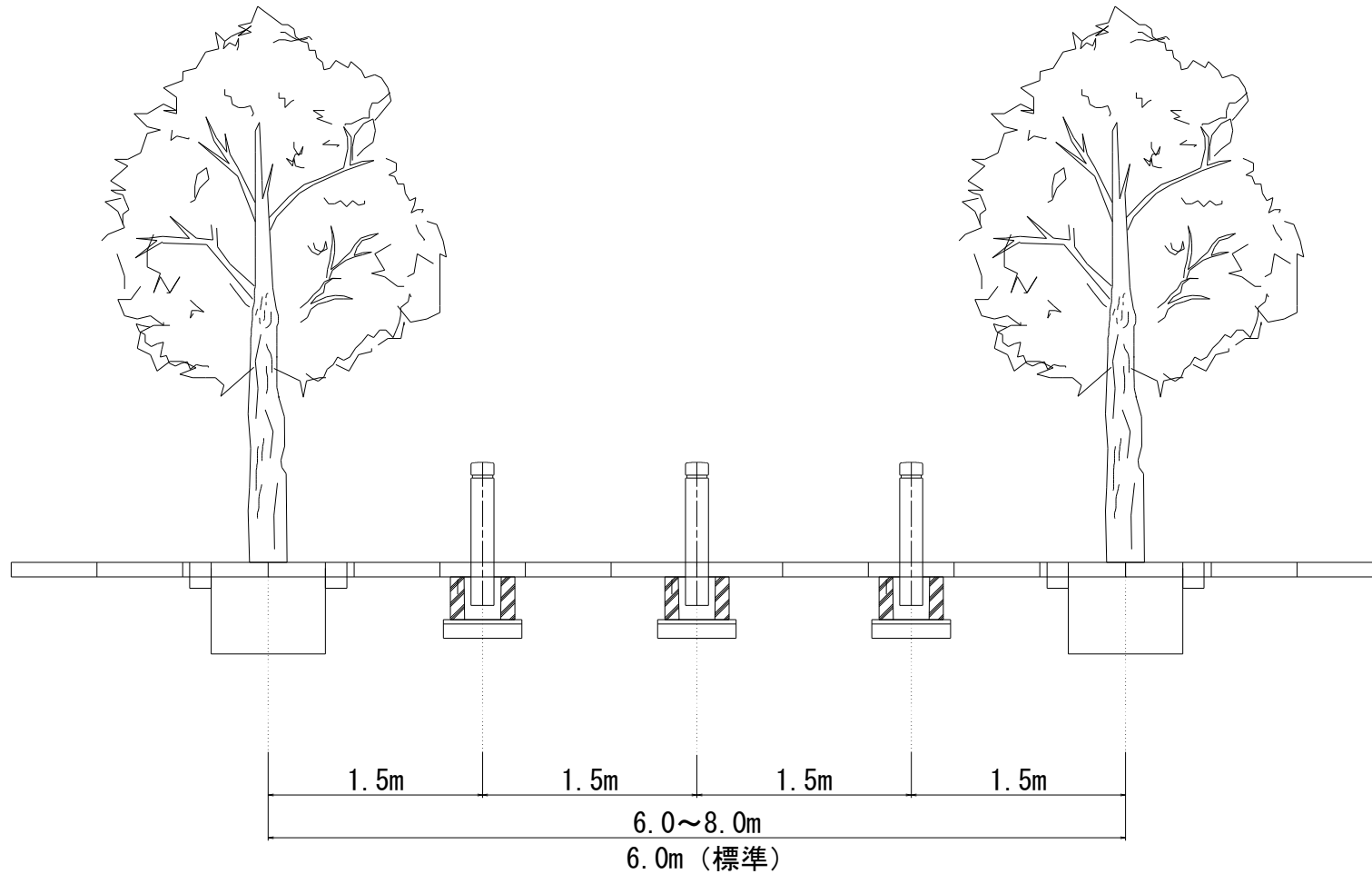


久茂地9号 植栽計画

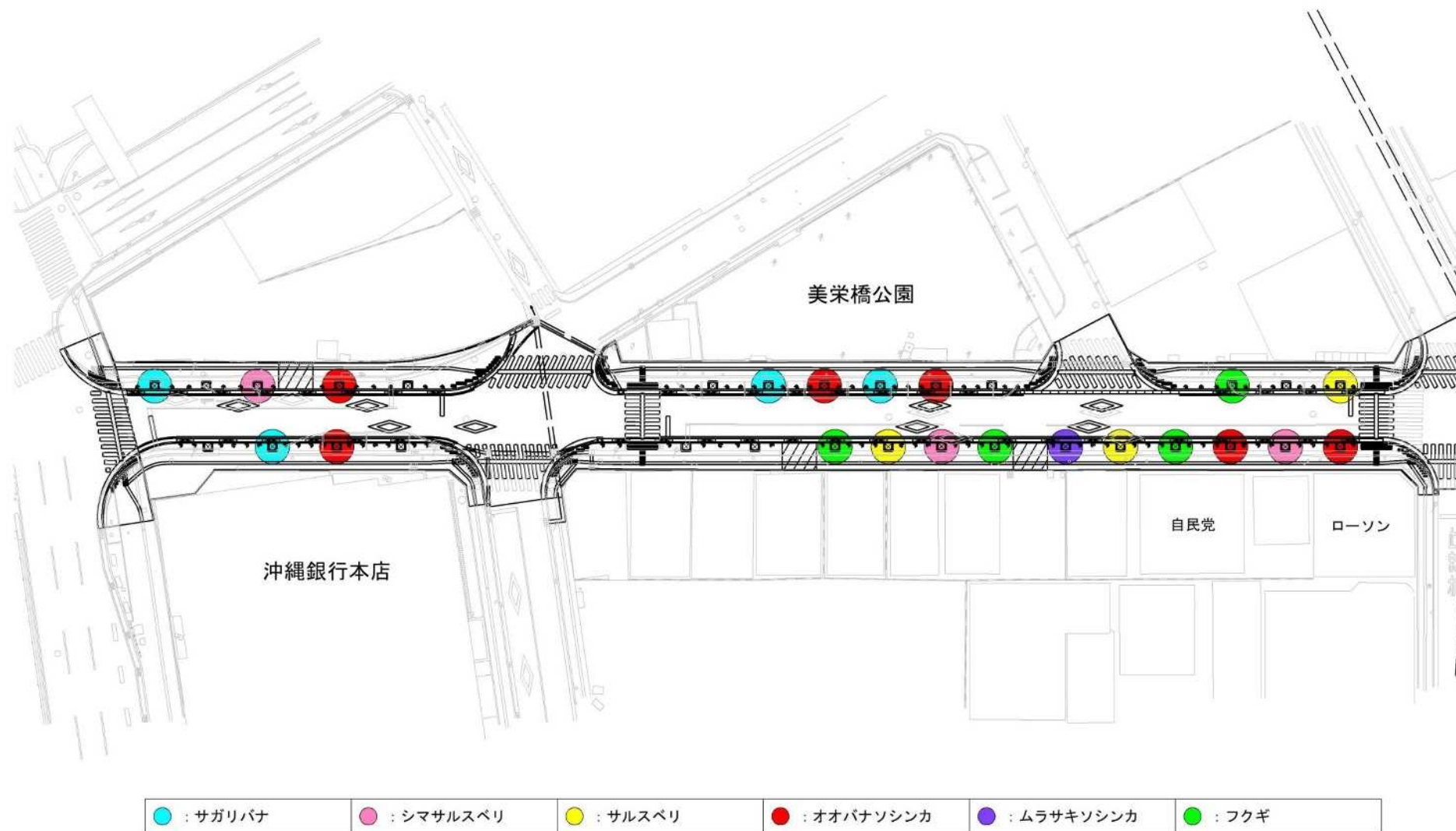
樹 種 一 覧 表

和名	サガリバナ	シマサルスベリ	サルスベリ	オオバナソシンカ	ムラサキシソシンカ	フクギ
姿図						
科名	サガリバナ科	ミソハギ科	ミソハギ科	マメ科	マメ科	オトギリソウ科
原産・分布	沖縄・東南アジア・太平洋諸島	九州以南・台湾・中国南部	中国・日本（関東以南）	中国（広東省）・香港	中国～インド	日本（琉球列島）、インド、スリランカ、フィリピン、台湾
開花時期	6～7月	7～8月	7～9月	11～12月、1～4月、年2回咲	10～12月	5～6月
特徴	真夏に白からやや桃色の芳香のある花を、垂れ下がるように夜咲かせる。マングローブの構成樹種の一つで、湿り気の強い土壌で良く育つ。群生地では、花の甘い香りと、流れに散ってゆく様は実に圧巻。最近、苗が容易に手に入るようになり、育てやすいので庭園樹として人気が増えてきた。	花の美しさはサルスベリには劣るが、幹がほぼ直立して樹形が美しい。樹皮は盛夏に白、冬に赤褐色となる。葉はサルスベリに比べて薄く上面無毛である。園芸品種が多く知られており、高性で赤色花のカントリーレッドなどは代表的なもののひとつである。材質は堅く、建築、家具、薪炭材などに、葉は染料に、また中国では花や葉は薬用、食用に利用する。	幹皮はすべすべしていて、淡褐色の薄い樹皮がはげ落ちた後、真新しい白い樹皮が独特のまだらをつくる。花は桃色、白色、淡紫色など花色が豊富である。真夏に長期にわたり鑑賞できる。和名のサルスベリは樹皮が滑らかで、サルも滑り落ちるという意味。また、ヒヤクジツコウと呼ばれることもあるが、これは漢名から由来したもので花が紅色で百日間も咲き続けるという意味。多くの園芸品種や系統が育成選出されている。	葉の形が羊の蹄にも似ているので「羊蹄木」とも呼ばれています。英名のホンコンオーキッドツリー（Hong Kong Orchid Tree）は香港の蘭の様な花の咲く木という意味。この仲間では最も美しい花を咲かせ、また朝夕には蘭と同じように甘い香りを漂わせます。	和名は、同属のソシンカが白色であるのに対して本種は紫花であることから。ムラサキシソシンカはマメ科の落葉樹である。樹高は2～3m程度に。葉は心臓形で中裂した葉姿がヒツジの蹄を連想させることから「羊蹄木」とも呼ばれる。	海岸、屋敷の防風林としてかかせない沖縄を代表する緑化樹のひとつである。この種は雌雄異株である。熱帯果物の女王といわれるマンゴスチンと同じ仲間であるが、果実は食用とはならない。樹皮からは黄色の染料がとれる。Garcinia属は、200種以上あり、このうち3分の2の種類が果実として食される。

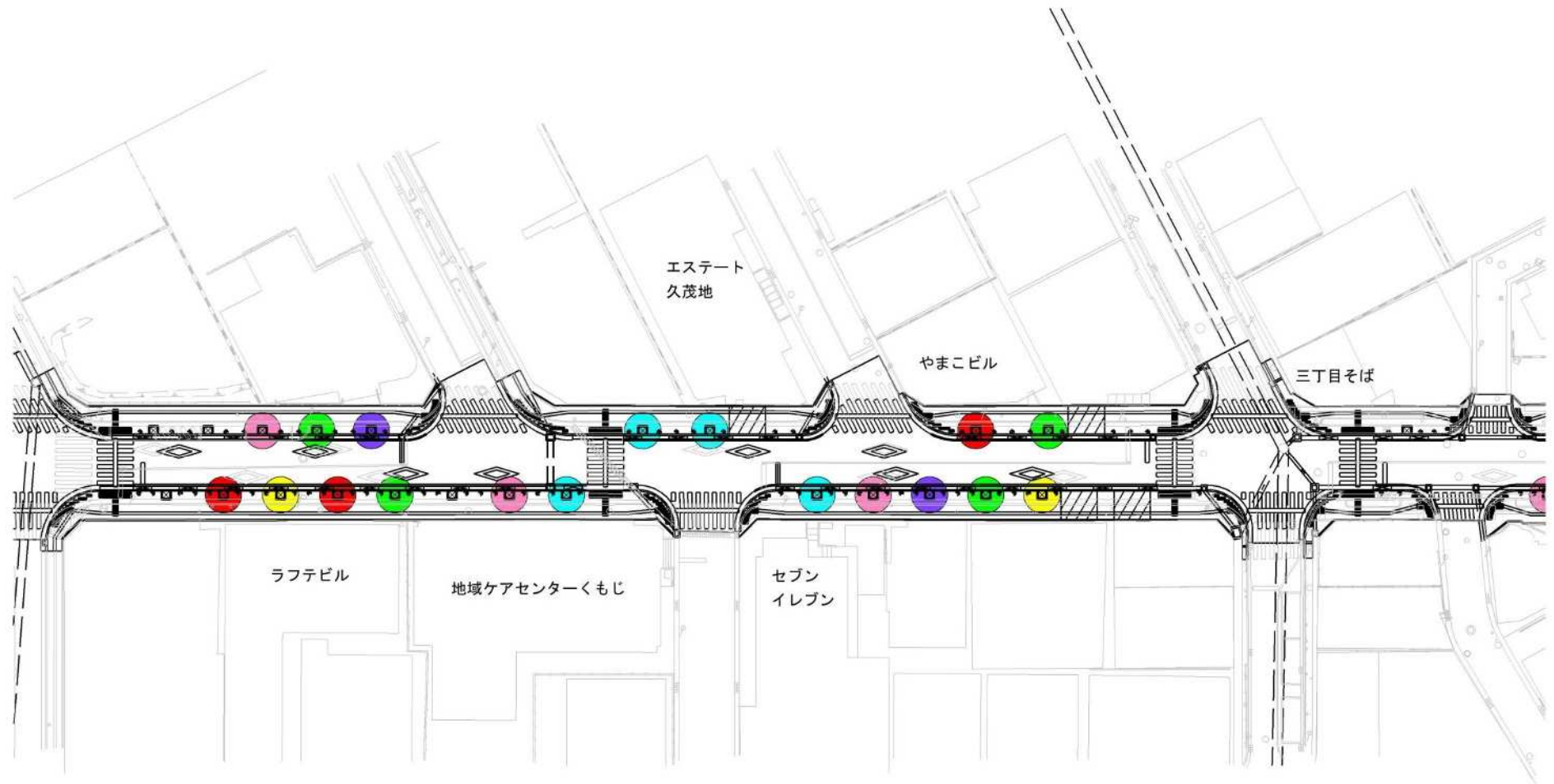
植樹柵の間隔



植栽配置 (1)



植栽配置 (2)



 : サガリバナ	 : シマサルズベリ	 : サルズベリ	 : オオバナソシンカ	 : ムラサキソシンカ	 : フクギ
---	---	---	--	--	---

植栽配置 (3)

